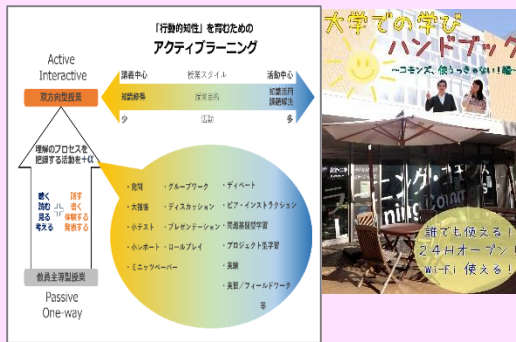


大学等名：宇都宮大学

テーマ：テーマⅠ（アクティブ・ラーニング）・Ⅱ（学修成果の可視化）複合型

新たな地域社会の変革を担う「3C人材：主体的に挑戦し（Challenge）、自らを変え（Change）、社会に貢献（Contribution）する人材」の養成のため、知識の体系を自らの行動につなげ、現実社会で実践していくための態度・志向・感性とリテラシーで構成される能力「行動的知性」の着実な獲得の制度設計を行う。第一にアクティブ・ラーニングの深化と拡充、第二にFDの推進による教員集団の一層の教授能力・資質の向上、第三に個々の授業科目を越えた大学教育のカリキュラム・マネジメントの確立、第四に学修到達度可視化システムの開発を相乗的に実行し、宇都宮大学の学士課程教育の質的転換を図る。

## I：アクティブ・ラーニングの深化と拡充

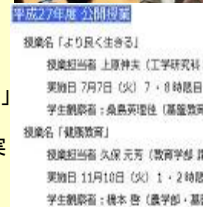


- ・アクティブ・ラーニングの手法を授業スタイルと関連付け明示
- ・各授業でアクティブ・ラーニング手法による割合を「AL度」としてシラバスに示す
- ・能動的学習空間ラーニングコモンズの学生による利用の促進
- ・コモンズ学生スタッフの育成、協働
- ・学生提案型授業の開発

## Ⅱ：FDの推進による教員集団の一層の教授能力・資質の向上

### 教員の教授能力・資質の向上(実践型FD)

- ・全学・学部との連携を強化して教員が参加しやすいFDの実施
- ・優良授業実践例の公開授業
- ・ティップス集・授業設計マニュアルを含む「宇大版アクティブラーニングティップス集」の作成
- ・外部講師、アクティブラーニング実践者の学内講師によるワークショップ型FD



行動的知性の獲得  
－アクティブ・ナレッジ－

主体的に挑戦し(Challenge)  
自らを変え(Change)  
社会に貢献(Contribution)

3C人材の養成

既存の「到達目標明示型自己実現学修システム(DPの到達度を可視化するシステム)」との統合による多面的・総合的学修成果の認定

3C分布状況の解析と見直し



3C到達度チェックシート

3C到達度チェックシート

教員と学生の意識の共有化

PDCAサイクルに基づく学修到達度可視化システムの『3C到達度チェックシート』における9つの力の重要項目の点検・改善と学生との意識の共有化

各授業における3Cの重み付けをシラバスに表記

## Ⅲ：個々の授業科目を越えた大学教育のカリキュラム・マネジメントの確立

## Ⅳ：学修到達度可視化システムの開発

学修到達度可視化システムの運用を通じ学生の学びの質を客観的に把握することで、継続的な教育改革の基礎資料として活用

- ・本事業の実施により、これまでの着実な知識の獲得に加え、現実社会で実践していく能力(行動的知性)を備えた人材の育成へ教育内容・手法の進展が図られる。
- ・学内が一体となった教育改革を進めることで、学長のリーダーシップの下での教学改革推進体制が整う。

	25年度(実績値)	元年度(目標値)	元年度(実績値)
アクティブ・ラーニングを受講する学生の割合	43.2%	100%	100%
学生の授業外学修時間(週あたり)	7.69時間	28.0時間	21.8時間